

令和7年7月定例駐在員会 要旨

令和7年7月29日

○町長あいさつ

7月27日に予定していたふるさと祭りは、台風のため延期させていただいた。
祭りの在り方については、かねてから町民の手作りの祭りだということで、それをサポートするかたちでやってきた。
24日の取り扱いについては、協賛会を開催して方向性を決めていきたい。
20日に行われた参議院議員選挙の投票率について前は、61.67%であった。今回は67.67%と5%の投票率が上がった。
町民の皆様の政治に対する関心が高まっていると思われる。
7月11日から27日まで郡民体育大会があったが、予定されていた22競技のうち、27日は天候の関係で相撲競技が中止となった。
空手は台風の影響によって出場が出来なかったため20競技の開催となった。
今後とも町の活性化に寄与しながら町政を運営していきたいと思っている。

○副町長あいさつ

7月20日の参議院議員選挙が無事に終わり、駐在員の皆様には、立会人等色々ご協力頂きお礼を申し上げます。
大島地区大会は、ソフトボール男子と剣道が本町での開催となった。
皆様方の応援に対して感謝申し上げます。
龍郷町多世代交流センターについて7月22日に議会の皆様に説明した内容を駐在員の皆様にも後ほど説明をさせていただきご理解を得られればと思っている。

○各課等からの伝達事項

1. 敬老祝い金支給協力について（保健福祉課）

今回は日程についてのみ確認させていただく。
民生委員会ではプリントと配らせていただいているが、80歳以上90歳未満の方を対象に駐在員の皆様に同行して頂いて課長級の方と一緒にまわって敬老祝い金を支給していただく。
今のところ9月2日から15日までの間にお渡しして頂きたいと考えている。
旧盆と重なってくるので、各課長と日程を調整していただいてまわっていただければと思う。
90歳以上の対象者については、町長含めて担当課でまわる事になっている
9月9日から11日にまわる予定としている。

2. 龍郷町多世代交流センター整備事業について（保健福祉課）

どうくさあや館の事業スケジュールは、令和7年度は建設設計業務と地質調査を実施する。

令和8年度は、温泉の掘削工事を5月頃から始めたいと考えている。温泉が出るかどうか結果が分かるのが12月頃の予定である。

これから改築工事を始めるが、温泉の掘削状況によっては日程が後ろ倒しになる。

令和9年度の10月か11月頃に完成し、それ以降にどうくさあや館がオープンという予定になっている。

・温泉を活用した場合

総事業費が8億7150万円で皆様に当初説明をした時よりも値上がりしているがこれは設計額に基づいて出している。

物価高騰も踏まえて8億7150万円程かかるだろうと計算している。

令和7年度から令和9年度まで事業費を計上している。

8億7000万円のうち4億3300万円ほどが補助である

残りが辺地債で4億3800万円、これが国からの借り入れである。

町の実質負担はどのくらいかという国からの借り入れといえども地方交付税というかたちで戻ってくる。

実質この2割できる。4億3800万円の2割なので実質8700万円程でこの8億7000万円の工事ができると考えていただきたい。

・温泉を活用しない場合

総事業費が、6億5370万円である。これは、温泉部分の工事費を抜いた金額である。

合計が、6億5000万円のうち補助が1150万円である。

3億1000万円程は辺地債で国から借り入れる。

一般財源が、3億2500万円である。

町の実質負担は、少なくとも3億8000万円程負担しなければならない。

・ランニングコストについて

・第2世代交付金を活用した場合

利用料を少し値上げさせていただく。

75歳以上の方も含めて町内の方は300円、町外の方は500円を取ると計算してランニングコストを上げている。

現在、3万851人が利用しているが、1万人程増えて4万200人程入るであろうと見込んでいる。収入が、3億3059万1000円を見込んでいる。

2階部分の遊技場の部分で315万円程、多目的室利用で24万円程、物産品の売り上げで125万円程、子育て拠点整備事業で人件費の3分の2が国から補助金がおりのので280万円程を計上させていただいている。

温泉を活用した場合は、3800万円程の収入がある。それに対して支出が、人件費、光熱費、委託料等含めて、3900万円程の支出があると見込みをたてている。

ただし温泉を掘ってみないと分からない。温度や湯量によって費用が変わるので、あくまでも見込みでランニングコストをたてている。

光熱費に関して県の方にも確認を取っており、それ以上に費用がかかるだろうと見込んで計上している。

歳入から歳出を引いて94万7000円程の赤字が出るであろうと計算をしている。

ただし、光熱費によっては、黒字に近づくということを想定している。

・第2世代交付金を活用しない(温泉にしない場合)場合

令和6年度の実績ベースで計上している。

ただし、貸し切り風呂は、設計の段階で入れるので計上させていただいている。

これも多く見込んで温泉にした時と同等の利用者数で計算している。

1300万円程の収入になるであろうと、それに対して支出は、温泉を活用した場合と同じで遊技場は315万円、多目的室が24万円と変わらないと見込んで計上している。

2100万円程の収入があって、支出が実績ベースで人件費が1400万円、燃料費が、貸し切り風呂を使う事によって若干増えることを予想して上げさせていただいている。

4000万円程の支出があるだろうと見積もっている。

歳入から歳出を差し引いて1900万円程の赤字になるであろうと想定している。

・建物について

現在の温浴部分が多目的室になり温浴部分は中央グラウンド側に移る。この温浴部分が増設される部分となる。グラウンド側に駐車場があるが、その部分まで増設する。

今の風呂の1.5倍ほどになると見込んでいる。

入口がテニスコート側が変わる。

2階部分については、現在、1階からの階段が急になっているが、改修後はゆるやかな階段になる。児童遊戯スペースにはネットを張り巡らされた遊具を設置予定。

ファミサポ、屋上テラス、エレベーターを新規設置する。

3. スズメバチの巣採集依頼について（企画観光課）

神戸大学大学院の助教をしている佐賀さんから龍郷町周辺でスズメバチの研究を行いたいという事で、スズメバチとアシナガバチの巣の採集の協力の依頼が観察の森にあった。

総数は10個程希望している。

採取場所は、集落内や森でも山でもどこでも構わないとのことでした。

秋に巣を採集が望ましいとの事でしたが、集落内や畑の近く等、人的被害の可能性がある場所はすぐに採集する。

危険性のないような場所であれば、出来る限り大きくしてほしいと要望があったが、人的被害のある場所については、そういうわけにはいかないので発見された方が危険だと判断された場合は、すぐに採集に伺う。

採集の時間に関してお昼に行くと周囲に危険が及ぶ可能性があるため、夜間に採取へ行きたいと考えている。

採集した巣に関しては、冷凍で保存してそのまま大学へ着払いで送付する。
後日、巣を採集した周辺の調査を大学側が希望している。
調査をしてほしくないという要望があれば、私から大学の方へお伝えする。

4. 令和7年度龍郷町集落連絡調整員の選定について（企画観光課）

今年度も龍郷町集落連絡調整員の選定についてお願いします。
調整員は、集落ごとに正副2名若しくは複数名を配置。集落在住の職員及び会計年度任用職員等がない場合は、集落出身若しくは近隣集落在住の職員及び会計年度任用職員を調整員とすることができる。
調整員の集落への配置期間は1年であり、毎年度、各集落区長へ調整員の選定依頼を行う。

5. 地域活力創出事業の内規変更について(企画観光課)

地域活力創出事業の内規変更をした。
今回の変更点は、集落管理の施設及び集落が建設する建造物等についてと別表を廃止した。
集落における外灯・防犯灯設置事業と集会場の備品について別表にて助成する金額について定めていたが、この金額が平成20年度頃より変わっておらず、今後の物価高の見通しがつかないため具体的な金額の記載をやめ、その都度、選考委員会にて協議し助成金の交付、不交付と決定することとした。
集落管理の施設及び集落が建設する建造物等については、4月の駐在員会にてお知らせした龍郷町公民館建設(新築及び改築並びに修繕・補修等)に伴う集落負担基準を別途定めたため廃止することとした。

6. 龍郷町観光ガイドブック掲載用写真撮影について（企画観光課）

現在、発行されている龍郷町観光ガイドブックに掲載されている写真が古いものとなったため新しいものに差し替えを行う。
そのためこのガイドブックを制作しているまち色という業者が、集落内で写真撮影を行う。

○地域おこし協力隊活動報告

川崎隊員

・教育民泊の延期について

7月28日より予定していたトラスト財団による教育民泊は、トカラ列島周辺で発生している地震の影響により、来年1月8日からの3泊4日へと延期となった。安全を第一に考えての判断となった。来年の実施に向けて、より充実した受け入れ体制を整えていく。

・セントラルスポーツ 夏のホームステイ企画

7月21日から実施された、関東圏の小中学生を対象とした「セントラルスポーツ 夏のホームステイ企画」には、地震の影響もあり当初の予定より参加者が減少したが、6名の子どもたちが、3泊4日間のシマ暮らしを元気に体験してくれた。

町内のラジオ体操に参加したり、集落の子どもたちと仲良くなって遊ぶ様子を見守ることができ、地域にとっても温かい交流のひとつとなった。

・尼崎市との交流事業(8月予告)

8月20日からは、兵庫県尼崎市の中学生33名が本町を訪れ、1泊2日の「かんも一れ！ たつごう民泊」を体験する予定です。

今回は、教育委員会の協力を得て、町内の中学生との交流プログラムも企画されている。お互いの学校紹介や郷土の紹介、そして島料理を一緒に作っての昼食交流、夜には浦集落の皆様と伝統の「八月踊り」を楽しむ予定である。

この交流は、「AMA フレンドシップ交流事業」として、尼崎市と奄美群島の継続的な友好関係を深めることを目的に実施されている。

今年度は、本町と大和村が受け入れ先となっており、地域の魅力や暮らしを中学生たちに伝える貴重な機会となる。

・観光関連の取り組み

観光に関しては、スカイマーク(鹿児島ー奄美線100万人記念)、フジドリームエアライン(FDA)、ANA グループ会社の方と面会し、今後の観光キャンペーンや意見交換を行う機会がありました。

島の魅力をより多くの方に知っていただけるよう、交通機関との連携を深め、アクセス性の向上や観光情報の発信に努めていく。

シマ暮らしや自然、人とのふれあいを通じた教育・観光交流は、子どもたちや関わる大人にとっても大きな学びとなり、また地域にとっても未来につながると考えている。

今後も、安全に配慮しながら、地域全体で受け入れ体制を充実させ、来島者との温かな交流を大切にしていきたいと考えている。

引き続き、皆様のご理解とご協力、応援をよろしくお願い申し上げます。

竹内隊員

・空き家残置物をフリーマーケットに出品！(7月6日)

「中高生空き家活用プロジェクト」で片付け作業を進めてきた空き家の残置物を町内のフリーマーケットで販売した。

高校生3名が接客・販売に参加した。

SNS で事前に商品の宣伝、値段を安く設定したのもあり、開場後すぐに沢山のお客様が残置物を購入した。

9,000 円を売り上げ、今後の活動費に充てる。

9月のフリーマーケットにも出店予定である。今後の活用方法のアイデア出しなどを進める。

・龍南中「夢授業」で仕事や人生について語りました…(7月11日)

協力隊の仕事内容や着任に至った経緯、奄美の好きなところなどを紹介した。

アンケートの回答では「空き家問題に興味を持った」「自分も地域おこしの活動をしてみたい」

といった感想があった。

移住者の目線から、龍郷町の素晴らしい所を中学生に伝える良い機会になった。

・龍北中「住教育片付けワークショップ」を実施(7月14日)

鹿児島から2名の講師をお呼びし、片付けについて座学、実際の空き家で片付け作業を実践した。

空き家になった時に荷物が整理整頓されている方が、次のステップに進みやすい。

「片付け」は空き家活用・解体の第一歩！

「部屋がカビ臭かった」「虫の死骸があった」といったネガティブな感想があり、リアルな空き家を見せることが出来たと手ごたえを感じた。

○移住定住カウンセラー活動報告

谷カウンセラー

・「住もうディ！」への相談件数(6月26日～7月25日)

移住・住まい探しについての相談 10件

空き家活用についての相談 7件

空き家解体についての相談 3件

・「おいでや！いなか暮らし移住フェア2025」出展(7月19日 大阪天満橋)

西日本最大級の移住フェアが大阪で開催され、今年は龍郷町と伊仙町が奄美群島として出展しました。奄美群島ブースは20組の相談者に対応し、年齢や職業も様々な方々と直接お話ししてきた。

移住希望者がすぐに住める空き家が不足している状況が続いていることから、移住フェアへの出展には消極的でしたが実際に参加してみると、来場者が非常に多く会場全体が活気にあふれており、本当に大勢の方々が真剣に移住を検討している様子を伺うことができた。

今回の出展を通じて、今後は積極的に移住フェアに参加し、若年層や子育て中のファミリーなどにも、奄美群島や龍郷町の魅力と情報を積極的に発信していきたいと思った。

・移住者&島っちゅ交流会「海岸の生き物観察会」(8月9日 戸口漁港)

8月9日(日)「海岸の生き物観察会」の参加者を8月3日まで募集している。限定30名ですが、まだ空きがあります！

奄美の海の神秘に触れるチャンスです！

参加費は無料でどなたでもご参加頂けます。

一緒に海岸の生き物について学びませんか？